

# 北方領土問題に係る若年層への効果的な啓発の 施策検討に関する調査結果（データ詳細）

令和2年6月

独立行政法人北方領土問題対策協会



# 北方領土問題に係る若年層への効果的な啓発の施策検討に関する調査

## I 調査概要 p3 - 6

1. 調査概要
2. インターネット調査項目一覧
3. グループインタビュー調査項目一覧

## II インターネット調査結果 p7 - 30

属性1：普段よく使っている情報媒体

属性2：主な休日の過ごし方

属性3：ボランティア活動への興味・参加

Q1：何によって「北方領土問題」を知りましたか

Q2：参加または見聞きしたことのある広報啓発活動

Q3：北方領土返還要求運動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要か

Q4：参加したいと思う広報啓発活動

Q5：北方領土返還要求運動について一番近い考え

## III グループインタビュー調査結果 p31 - 33

1. 回答者の属性
2. 各調査項目の回答の傾向

# I 調査概要・調査項目



## 【I-1】 調査概要

調査目的	日本国籍を有する若年層に対して、以下の項目について調査を通じて考え方や行動実態を把握し、若年層に対する効果的な啓発活動の施策検討へ役立てる。
調査対象者	a. インターネット調査 日本国籍を有する18歳以上39歳以下の男女 18歳～24歳、25歳～29歳、30歳～34歳、35歳～39歳の男女 b. グループインタビュー調査 日本国籍を有し、首都圏在住の18歳～24歳の学生（専門学校、短期大学、四年制及び六年制大学、大学院）及び、25歳～39歳のフルタイムの就労状況にある男女で、社会問題に興味・関心がある者
調査手法	a. インターネット調査 b. グループインタビュー調査 以下の条件でグループを構成し、2グループ計12名のグループインタビュー調査を行う。 グループ①：18歳～24歳：6名（男女半々） グループ②：25歳～39歳：6名（男女半々）
調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ nは有効回答数を表している。</li><li>・ 回答率(%)は小数点以下を四捨五入している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。</li><li>・ 設問の回答には、単一回答と複数回答がある。 複数回答の設問は、回答者数ではなく回答数全体を100%としている。</li></ul>



## 【I-2】 インターネット調査項目

項目	内容	形式
属性1	普段よく使っている情報媒体	MA
属性2	主な休日の過ごし方	MA
属性3	ボランティア活動への興味・参加	SA
Q1	何によって「北方領土問題」を知りましたか	MA
Q2	参加または見聞きしたことのある広報啓発活動	MA
Q3	北方領土返還要求運動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要か？	MA
Q4	参加したいと思う広報啓発活動は？	MA
Q5	北方領土返還要求運動について一番近い考えは？	MA

SA(シングルアンサー)：単一回答  
MA(マルチアンサー)：複数回答  
FA(フリーアンサー)：自由回答  
NA：数値回答  
MT：マトリクス表組



## 【I-3】 グループインタビュー調査項目

項目	質問項目
自己紹介	氏名／通学場所または勤務場所／学年または勤続年数／専門分野または職務内容／普段の生活スタイル等
Q3-1	北方領土と聞いて思い浮かぶことは何ですか
Q3-2	「北方領土」に関する啓発活動への参加について、あなたの気持ちに近いものをお答えください 「北方領土」に関する広報啓発活動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要だと思いますか
Q3-3	あなたは、北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」をご存じですか

## II インターネット調査結果

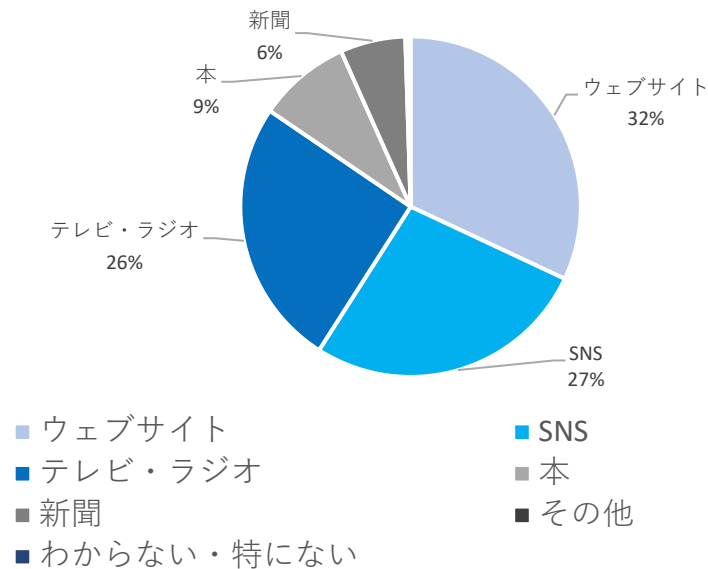


## 【II-1】 属性1（普段よく使っている情報媒体）

### ■ 属性1：

回答者が普段よく使っている情報媒体は、「ウェブサイト」が32%、「SNS」が27%、「テレビ・ラジオ」が26%、「本」が9%、「新聞」が6%となった。  
**インターネット（ウェブサイト・SNS）媒体が約6割であった。**

< 普段よく使っている情報媒体の内訳 > n=1,994



その他の記載例  
(括弧内の数字は回答数を示します。)

- YouTube (2)

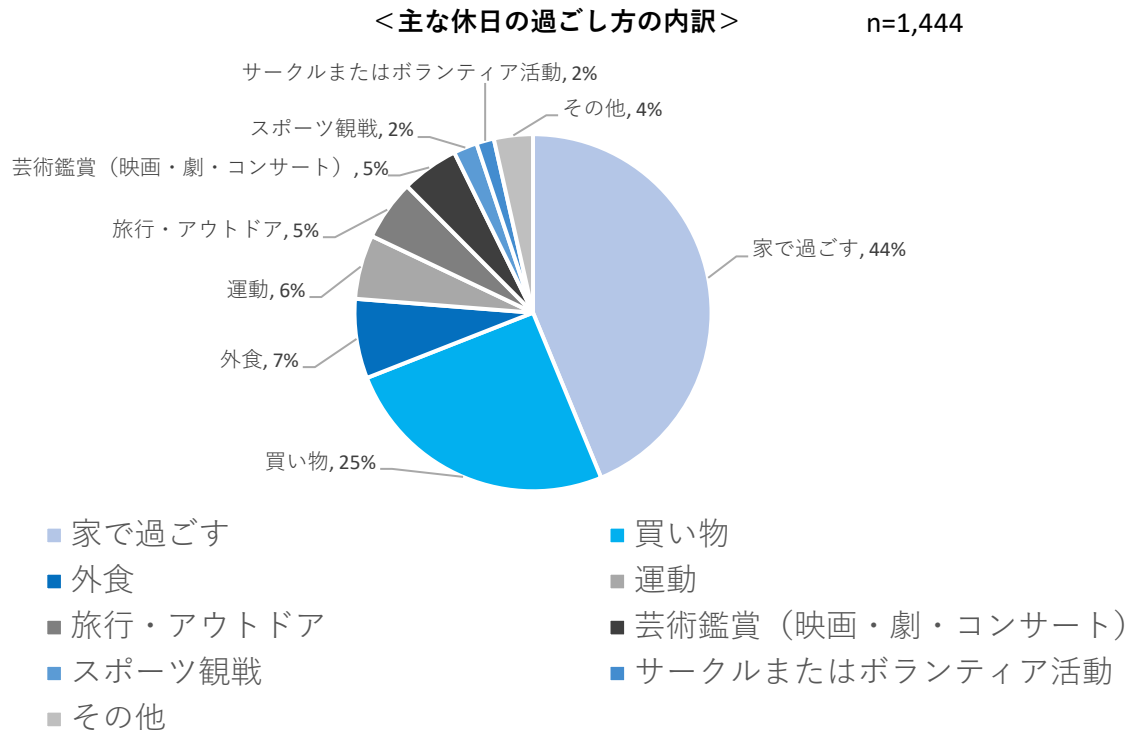




## 【II-2】 属性2（主な休日の過ごし方）

### ■ 属性2：

回答者の主な休日の過ごし方は、「家で過ごす」が44%、「買い物」が25%、「外食」が7%、「運動」が6%、「旅行・アウトドア」が5%、「芸術鑑賞（映画・劇・コンサート）」が5%、「スポーツ観戦」が2%、「サークルまたはボランティア活動」が2%、「その他」が4%となった。約半分近くが「家で過ごす」であった。



### その他の記載例 (括弧内の数字は回答数を示します。)

- お祭り・イベント等に参加 (21)
- 特になし (9)
- ゲームセンター (3)
- 日帰りで温泉 (2)
- 子どもと遊ぶ (2)
- 公園へ行く (2)
- 子ども/友人と遊ぶ (2)
- 何かしらの仕事 (2)
- 家事、育児 (2)
- アルバイト (2)
- カフェに行く (1)
- パチンコ (1)
- 絵を描く (1)
- 習い事 (1)
- ネットサーフィン (1)



## 【II-3】 属性3（ボランティア活動への興味・参加）

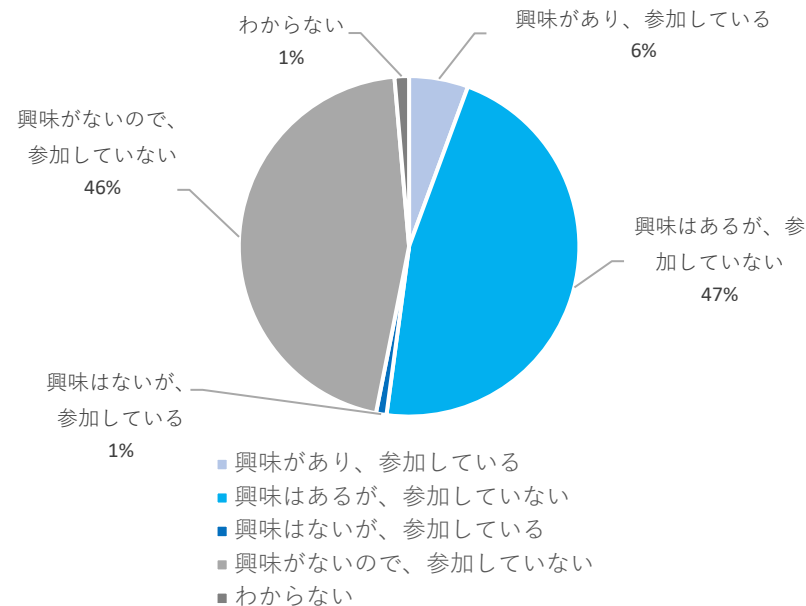
### ■ 属性3：

回答者のボランティア活動の状況は、「興味があり、参加している」が6%、「興味はあるが、参加していない」が47%、「興味はないが、参加している」が1%、「興味がないので、参加していない」が46%、「わからない」が1%となった。

**約半数が興味を持っているが、ボランティア活動に参加しているのはわずか7%であった。**

< ボランティア活動の状況の内訳 >

n=800





# 【II-4】 Q1：何によって「北方領土問題」を知りましたか①

<性別、年齢別の回答数>

		有効回答数	テレビ・ラジオ	新聞	本、雑誌等の出版物	ニュース	ホームページやインターネットのSNS (Facebook、Twitter、Instagramなど)	学校の授業	家族・知人	広報啓発イベント・講演会	地域のお祭り	リーフレット、ポスター等	広報啓発刊行物 (パンフレット、ビジョン)	街頭に設置されているモニターや	その他 (自由記載)	わからない
全体		1,127	355	98	74	120	47	360	27	9	2	20	10	3	2	
		100%	31%	9%	7%	11%	4%	32%	2%	1%	0%	2%	1%	0%	0%	
性別	男性	607	188	59	51	80	30	165	11	5	0	12	3	1	2	
		100%	31%	10%	8%	13%	5%	27%	2%	1%	0%	2%	0%	0%	0%	
性別	女性	520	167	39	23	40	17	195	16	4	2	8	7	2	0	
		100%	32%	8%	4%	8%	3%	38%	3%	1%	0%	2%	1%	0%	0%	
年齢	18～24歳	252	84	18	18	16	15	93	3	0	0	3	2	0	0	
		100%	33%	7%	7%	6%	6%	37%	1%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	
	25～29歳	280	80	23	19	28	13	95	9	3	0	5	2	2	1	
		100%	29%	8%	7%	10%	5%	34%	3%	1%	0%	2%	1%	1%	0%	
年齢	30～34歳	294	97	23	15	33	11	92	9	4	1	5	4	0	0	
		100%	33%	8%	5%	11%	4%	31%	3%	1%	0%	2%	1%	0%	0%	
年齢	35～39歳	301	94	34	22	43	8	80	6	2	1	7	2	1	1	
		100%	31%	11%	7%	14%	3%	27%	2%	1%	0%	2%	1%	0%	0%	

■ どの属性においても、「北方領土問題」を知る主なきっかけは、「テレビ・ラジオ」「学校の授業」がそれぞれ高かった。

■ 男性は女性に比べて、「出版物」や「ニュース」で知る割合が高く、「学校の授業」の割合が低かった。

■ 年齢が高くなるほど、「学校授業」の割合が低下し、「ニュース」の割合が高くなった。

<その他の記載例>

- ネットのまとめサイトやウイキペディア・漫画など
- 研究論文
- 中学生の時の授業



# 【II-5】 Q1：何によって「北方領土問題」を知りましたか②

<居住地域ブロック別の回答数>

		有効回答数	テレビ・ラジオ	新聞	本、雑誌等の出版物	ホームページやインターネットのニュース	SNS (Facebook、Twitter、Instagram等)	学校の授業	家族・知人	広報啓発イベント・講演会	地域のお祭り	広報啓発刊行物(パンフレット、リーフレット、ポスター等)	街頭に設置されているモニターやビジョン	その他(自由記載)	わからない
居住地(都道府県)	北海道東北	154	46	12	7	18	6	43	4	2	1	10	5	0	0
		100%	30%	8%	5%	12%	4%	28%	3%	1%	1%	6%	3%	0%	0%
	関東甲信越	457	142	31	34	48	21	159	11	2	1	5	3	0	0
		100%	31%	7%	7%	11%	5%	35%	2%	0%	0%	1%	1%	0%	0%
	東海北陸	157	55	19	10	22	5	42	1	0	0	2	0	0	1
		100%	35%	12%	6%	14%	3%	27%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	1%
近畿	179	55	18	15	17	9	53	6	3	0	1	1	1	0	
	100%	31%	10%	8%	9%	5%	30%	3%	2%	0%	1%	1%	1%	0%	
中国四国	85	26	9	3	7	1	29	4	1	0	2	1	1	1	
	100%	31%	11%	4%	8%	1%	34%	5%	1%	0%	2%	1%	1%	1%	
九州沖縄	95	31	9	5	8	5	34	1	1	0	0	0	1	0	
	100%	33%	9%	5%	8%	5%	36%	1%	1%	0%	0%	0%	1%	0%	

- 居住地別では、他地域と比べて、
  - 北海道東北：
    - 「広報啓発刊行物」が高く、
    - 「学校の授業」が低い
  - 東海北陸：
    - 「テレビ・ラジオ」「ニュース」が高く、「学校の授業」が低い
  - 中国四国：
    - 「学校の授業」が高く
    - 「SNS」が低い
  - 九州沖縄：
    - 「学校の授業」が高い



# 【II-6】 Q1：何によって「北方領土問題」を知りましたか③

<性別及び年齢別の回答数>

		有効回答数	テレビ・ラジオ	新聞	本、雑誌等の出版物	ホームページやインターネットのニュース	SNS (Facebook、Twitter、Instagramなど)	学校の授業	家族・知人	広報啓発イベント・講演会	地域のお祭り	リーフレット、ポスター等)	広報啓発刊行物 (パンフレット、やビジョン)	街頭に設置されているモニター	その他 (自由記載)	わからない
男性	18～24歳	150 100%	50 33%	11 7%	17 11%	13 9%	10 7%	45 30%	0 0%	0 0%	0 0%	3 2%	1 1%	0 0%	0 0%	
	25～29歳	146 100%	40 27%	13 9%	13 9%	18 12%	10 7%	41 28%	5 3%	2 1%	0 0%	3 2%	0 0%	0 0%	1 1%	
	30～34歳	133 100%	42 32%	9 7%	7 5%	21 16%	6 5%	40 30%	3 2%	1 1%	0 0%	3 2%	1 1%	0 0%	0 0%	
	35～39歳	178 100%	56 31%	26 15%	14 8%	28 16%	4 2%	39 22%	3 2%	2 1%	0 0%	3 2%	1 1%	1 1%	1 1%	
女性	18～24歳	102 100%	34 33%	7 7%	1 1%	3 3%	5 5%	48 47%	3 3%	0 0%	0 0%	0 0%	1 1%	0 0%	0 0%	
	25～29歳	134 100%	40 30%	10 7%	6 4%	10 7%	3 2%	54 40%	4 3%	1 1%	0 0%	2 1%	2 1%	2 1%	0 0%	
	30～34歳	161 100%	55 34%	14 9%	8 5%	12 7%	5 3%	52 32%	6 4%	3 2%	1 1%	2 1%	3 2%	0 0%	0 0%	
	35～39歳	123 100%	38 31%	8 7%	8 7%	15 12%	4 3%	41 33%	3 2%	0 0%	1 1%	4 3%	1 1%	0 0%	0 0%	

- 男性は年齢が高くなるほど、「ニュース」の割合が高くなり、「SNS」の割合が低くなった。
- 女性は年齢が高くなるほど、「出版物」「ニュース」の割合が高くなり、「学校の授業」の割合が低くなった。



# 【II-7】 Q1：何によって「北方領土問題」を知りましたか④

< 性別及び職業別の回答数 >

		有効回答数	テレビ・ラジオ	新聞	本、雑誌等の出版物	ホームページやインターネットのニュース	SNS (Facebook、Twitter、Instagram等)	学校の授業	家族・知人	会	広報啓発イベント・講演	地域のお祭り	リーフレット、ポスター等	広報啓発刊行物 (パンフレット、リーフレット、ポスター等)	街頭に設置されているモニターやビジョン	その他 (自由記載)	わからない
男性	学生	113	35	9	17	10	8	30	0	0	0	0	3	1	0	0	
		100%	31%	8%	15%	9%	7%	27%	0%	0%	0%	0%	3%	1%	0%	0%	
	会社員	299	96	25	22	39	15	81	10	2	0	7	1	0	1		
		100%	32%	8%	7%	13%	5%	27%	3%	1%	0%	2%	0%	0%	0%		
	自営業	102	29	12	9	18	3	25	0	2	0	2	1	1	0		
		100%	28%	12%	9%	18%	3%	25%	0%	2%	0%	2%	1%	1%	0%		
アルバイト	46	14	4	2	5	3	16	0	1	0	0	0	0	1			
	100%	30%	9%	4%	11%	7%	35%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	2%			
無職	47	14	9	1	8	1	13	1	0	0	0	0	0	0			
	100%	30%	19%	2%	17%	2%	28%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%			
女性	学生	45	16	3	1	0	1	20	3	0	0	0	1	0	0		
		100%	36%	7%	2%	0%	2%	44%	7%	0%	0%	0%	2%	0%	0%		
	会社員	190	55	15	12	16	4	75	4	2	0	3	4	0	0		
		100%	29%	8%	6%	8%	2%	39%	2%	1%	0%	2%	2%	0%	0%		
	自営業	76	21	7	5	9	2	29	1	0	0	1	0	1	0		
	100%	28%	9%	7%	12%	3%	38%	1%	0%	0%	1%	0%	1%	0%			
アルバイト	100	32	12	4	6	6	31	4	1	0	3	1	0	0			
	100%	32%	12%	4%	6%	6%	31%	4%	1%	0%	3%	1%	0%	0%			
無職	109	43	2	1	9	4	40	4	1	2	1	1	1	0			
	100%	39%	2%	1%	8%	4%	37%	4%	1%	2%	1%	1%	1%	0%			

■ 職業別の傾向は以下の通り。

		他職業より	
		割合が高い	割合が低い
男性	学生	出版物	ニュース
	会社員	-	-
	自営業	新聞 ニュース	SNS
	アルバイト	学校の授業	出版物
無職	新聞 ニュース	SNS 出版物	
女性	学生	学校の授業 家族・知人	出版物 ニュース
	会社員	-	SNS
	自営業	ニュース	-
	アルバイト	新聞 SNS	学校の授業
無職	テレビ・ラジオ	新聞 出版物	



# 【II-8】 Q1：参加または見聞きしたことのある広報啓発活動①

<性別、年齢別の回答数>

		有効回答数	北方領土返還要求全国大会	動 北方領土返還要求中央アピール行 返還要求大会	北海道府県で開催している北方領土 返還要求大会	地域における広報・啓発イベント	研修会・講演会	全国スピーチコンテスト	標語・キャッチコピー	事業 北方四島交流事業（ビザなし交流 事業）	イト 北方四島交流事業（ビザなし交流 事業）	ホームページや動画等のウェブサ イト	SNSによる情報発信	リーフレット、ポスター等	広報啓発刊行物（パンフレット、 リーフレット、ポスター等）	街頭に設置されているモニターや ビジョン	その他（自由記載）	わからない・特になし													
全体		887	49	28	21	91	38	15	56	101	66	79	66	28	3	246	100%	6%	3%	2%	10%	4%	2%	6%	11%	7%	9%	7%	3%	0%	28%
性別	男性	477	34	15	11	43	28	9	35	61	37	44	38	11	1	110	100%	7%	3%	2%	9%	6%	2%	7%	13%	8%	9%	8%	2%	0%	23%
	女性	410	15	13	10	48	10	6	21	40	29	35	28	17	2	136	100%	4%	3%	2%	12%	2%	1%	5%	10%	7%	9%	7%	4%	0%	33%
年齢	18～24歳	200	14	9	3	21	6	3	8	19	14	20	13	4	1	65	100%	7%	5%	2%	11%	3%	2%	4%	10%	7%	10%	7%	2%	1%	33%
	25～29歳	232	10	9	6	26	15	6	15	23	16	27	19	8	1	51	100%	4%	4%	3%	11%	6%	3%	6%	10%	7%	12%	8%	3%	0%	22%
	30～34歳	229	13	4	6	23	11	4	17	25	16	21	11	7	0	71	100%	6%	2%	3%	10%	5%	2%	7%	11%	7%	9%	5%	3%	0%	31%
	35～39歳	226	12	6	6	21	6	2	16	34	20	11	23	9	1	59	100%	5%	3%	3%	9%	3%	1%	7%	15%	9%	5%	10%	4%	0%	26%

- 全体では、「わからない」が約30%と最も多く、「交流事業」「啓発イベント」「SNS」「発刊行物」「ウェブサイト」の順に割合が高かった。
- 男性は女性に比べて、「返還要求全国大会」「研修会」「交流事業」の割合が高く、「啓発イベント」「わからない」の割合が低かった。
- 年齢での差異は少なかったが、「35～39歳」において「交流事業」の割合が高く「SNS」の割合が低かった。

- <その他の記載例>
- マスコットキャラクター
  - 漫画（日露戦争物語）
  - 街頭演説



# 【II-9】 Q2：参加または見聞きしたことのある広報啓発活動②

<居住地地域ブロック別の回答数>

居住地	有効回答数	北方領土返還要求全国大会	動	北方領土返還要求中央アピール行	都道府県で開催している北方領土返還要求大会	地域における広報・啓発イベント	研修会・講演会	全国スピーチコンテスト	標語・キャッチコピー	事業	北方四島交流事業（ビザなし交流	イト	ホームページや動画等のウェブサ	SMSによる情報発信	リーフレット、ポスター等	広報啓発刊行物（パンフレット、	街頭に設置されているモニターや	ビジョン	その他（自由記載）	わからない・特になし											
居住地 (都道府県)	北海道東北	136	9	3	6	22	6	1	10	23	8	7	15	5	1	20	100%	7%	2%	4%	16%	4%	1%	7%	17%	6%	5%	11%	4%	1%	15%
	関東甲信越	351	19	13	4	30	13	6	17	43	27	36	24	11	0	108	100%	5%	4%	1%	9%	4%	2%	5%	12%	8%	10%	7%	3%	0%	31%
	東海北陸	116	10	3	1	12	8	2	7	10	10	10	9	0	0	34	100%	9%	3%	1%	10%	7%	2%	6%	9%	9%	8%	0%	0%	0%	29%
	近畿	132	3	3	6	10	6	2	7	13	11	14	8	7	1	41	100%	2%	2%	5%	8%	5%	2%	5%	10%	8%	11%	6%	5%	1%	31%
	中国四国	87	4	4	2	11	3	3	10	5	7	5	9	4	0	20	100%	5%	5%	2%	13%	3%	3%	11%	6%	8%	6%	10%	5%	0%	23%
	九州沖縄	65	4	2	2	6	2	1	5	7	3	7	1	1	1	23	100%	6%	3%	3%	9%	3%	2%	8%	11%	5%	11%	2%	2%	2%	35%

■ 居住地別の傾向は以下の通り。

	他地域より	
	割合が高い	割合が低い
北海道東北	啓発イベント 交流事業	SNS わからない
関東甲信越	-	-
東海北陸	-	モニター
近畿	モニター	-
中国四国	スピーチコンテ スト、標語	交流事業
九州沖縄	-	ウェブサイト 刊行物





# 【II-10】 Q2：参加または見聞きしたことのある広報啓発活動③

<性別及び年齢別の回答数>

		有効回答数	北方領土返還要求全国大会	北方領土返還要求中央アピール行動	土返還要求大会	北海道府県で開催している北方領土	地域における広報・啓発イベント	研修会・講演会	全国スピーチコンテスト	標語・キャッチコピー	流事業	北方四島交流事業（ビザなし交流事業）	ホームページや動画等のウェブサイト	SNSによる情報発信	広報啓発刊行物（パンフレット、リーフレット、ポスター等）	街頭に設置されているモニターやビジョン	その他（自由記載）	わからない・特になし
男性	18～24歳	106 100%	10 9%	6 6%	2 2%	6 6%	4 4%	2 2%	4 4%	13 12%	4 4%	11 10%	6 6%	1 1%	0 0%	37 35%		
	25～29歳	128 100%	8 6%	6 5%	4 3%	13 10%	13 10%	3 2%	11 9%	14 11%	9 7%	14 11%	12 9%	4 3%	0 0%	17 13%		
	30～34歳	110 100%	8 7%	1 1%	2 2%	13 12%	7 6%	3 3%	9 8%	11 10%	9 8%	10 9%	5 5%	2 2%	0 0%	30 27%		
	35～39歳	133 100%	8 6%	2 2%	3 2%	11 8%	4 3%	1 1%	11 8%	23 17%	15 11%	9 7%	15 11%	4 3%	1 1%	26 20%		
女性	18～24歳	94 100%	4 4%	3 3%	1 1%	15 16%	2 2%	1 1%	4 4%	6 6%	10 11%	9 10%	7 7%	3 3%	1 1%	28 30%		
	25～29歳	104 100%	2 2%	3 3%	2 2%	13 13%	2 2%	3 3%	4 4%	9 9%	7 7%	13 13%	7 7%	4 4%	1 1%	34 33%		
	30～34歳	119 100%	5 4%	3 3%	4 3%	10 8%	4 3%	1 1%	8 7%	14 12%	7 6%	11 9%	6 5%	5 4%	0 0%	41 34%		
	35～39歳	93 100%	4 4%	4 4%	3 3%	10 11%	2 2%	1 1%	5 5%	11 12%	5 5%	2 2%	8 9%	5 5%	0 0%	33 35%		

- 男性は年齢が高くなるほど、「ウェブサイト」の割合が高くなり、「中央アピール行動」「SNS」の割合が低くなった。
- 女性は年齢が高くなるほど、「交流事業」の割合が高くなり、「啓発イベント」「ウェブサイト」「SNS」の割合が低くなった。



# 【II-11】 Q2：参加または見聞きしたことのある広報啓発活動④

<性別及び職業別の回答数>

	有効回答数	北方領土返還要求全国大会	北方領土返還要求中央アピール行動	都道府県で開催している北方領土返還要求大会	地域における広報・啓発イベント	研修会・講演会	全国スピーチコンテスト	標語・キャッチコピー	北方四島交流事業（ビザなし交流事業）	ホームページや動画等のウェブサイト	SNSによる情報発信	広報啓発刊行物（パンフレット、リーフレット、ポスター等）	街頭に設置されているモニターやビジョン	その他（自由記載）	わからない・特になし	
男性	学生	87 100%	10 11%	3 3%	2 2%	7 8%	4 5%	2 2%	4 5%	14 16%	4 5%	9 10%	6 7%	1 1%	0 0%	21 24%
	会社員	242 100%	16 7%	7 3%	7 3%	25 10%	20 8%	4 2%	19 8%	28 12%	15 6%	19 8%	24 10%	7 3%	0 0%	51 21%
	自営業	74 100%	3 4%	2 3%	1 1%	6 8%	2 3%	0 0%	6 8%	12 16%	7 9%	7 9%	7 9%	2 3%	1 1%	18 24%
	アルバイト	44 100%	2 5%	2 5%	1 2%	4 9%	2 5%	3 7%	3 7%	2 5%	5 11%	5 11%	1 2%	1 2%	0 0%	13 30%
	無職	30 100%	3 10%	1 3%	0 0%	1 3%	0 0%	0 0%	3 10%	5 17%	6 20%	4 13%	0 0%	0 0%	0 0%	7 23%
女性	学生	40 100%	3 8%	2 5%	1 3%	5 13%	1 3%	0 0%	1 3%	3 8%	7 18%	4 10%	5 13%	2 5%	0 0%	6 15%
	会社員	150 100%	6 4%	6 4%	2 1%	17 11%	4 3%	3 2%	5 3%	16 11%	9 6%	14 9%	8 5%	6 4%	2 1%	52 35%
	自営業	58 100%	2 3%	1 2%	2 3%	4 7%	2 3%	1 2%	5 9%	9 16%	5 9%	4 7%	2 3%	3 5%	0 0%	18 31%
	アルバイト	82 100%	3 4%	2 2%	4 5%	14 17%	2 2%	2 2%	7 9%	5 6%	4 5%	11 13%	8 10%	4 5%	0 0%	16 20%
	無職	80 100%	1 1%	2 3%	1 1%	8 10%	1 1%	0 0%	3 4%	7 9%	4 5%	2 3%	5 6%	2 3%	0 0%	44 55%

■ 職業別の傾向は、以下の通り。

		他職業より	
		割合が高い	割合が低い
男性	学生	全国大会 交流事業	標語 ウェブサイト
	会社員	研修会	-
	自営業	交流事業 ウェブサイト	全国大会 研修会
	アルバイト	スピーチコンテスト	全国大会、交流 事業、刊行物
無職	全国大会 ウェブサイト	啓発イベント 刊行物	
女性	学生	全国大会、ウェブサイト、 刊行物	標語
	会社員	-	-
	自営業	標語 交流事業	啓発イベント 刊行物
	アルバイト	啓発イベント、標語、 SNS、刊行物	交流事業
無職	-	SNS	

# 【II-12】 Q3：北方領土返還要求運動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要か①



<性別、年齢別の回答数>

		有効回答数	北方領土問題についての基本知識があること	広報啓発活動の十分な情報提供があること	広報啓発活動への参加方法が分かりやすいこと	「楽しい」と思えること	「参加する意義」を感じられること	報酬があること	北方領土返還を求める思いがあること	その他（自由記載）	わからない・特になし
全体		1,496 100%	337 23%	200 13%	193 13%	69 5%	347 23%	68 5%	246 16%	5 0%	31 2%
性別	男性	748 100%	150 20%	107 14%	101 14%	45 6%	168 22%	47 6%	110 15%	1 0%	19 3%
	女性	748 100%	187 25%	93 12%	92 12%	24 3%	179 24%	21 3%	136 18%	4 1%	12 2%
年齢	18～24歳	330 100%	83 25%	32 10%	47 14%	15 5%	77 23%	17 5%	49 15%	0 0%	10 3%
	25～29歳	370 100%	80 22%	54 15%	52 14%	23 6%	79 21%	16 4%	58 16%	0 0%	8 2%
	30～34歳	422 100%	87 21%	59 14%	49 12%	15 4%	106 25%	23 5%	71 17%	4 1%	8 2%
	35～39歳	374 100%	87 23%	55 15%	45 12%	16 4%	85 23%	12 3%	68 18%	1 0%	5 1%

■ 北方領土返還要求運動に参加しやすくなるための条件として、「参加する意義」「基本知識」「返還の思い」「情報提供」「分かりやすさ」の順に回答が多かった。

■ 男性は女性に比べて、「報酬」「楽しさ」の割合が高いが、「基本知識返」「返還への思い」の割合が低かった。

■ 年齢別では求める条件に大きな差は無かったが、「18～24歳」においては「情報提供」の割合が低かった。

### <その他の記載例>

- 教育やテレビ等での啓蒙
- 日本が好きである事、日本人生まれて良かったと思う事、愛国心がある事
- 北方領土問題を身近に感じさせること
- 自分の生活に余裕が有ること
- わかりやすく周知してもらい、困っている人がいることを伝えてほしい

# 【II-13】 Q3：北方領土返還要求運動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要か②



<居住地域ブロック別の回答数>

		有効回答数	北方領土問題についての基本知識があること	広報啓発活動の十分な情報提供があること	広報啓発活動への参加方法が分かりやすいこと	「楽しい」と思えること	「参加する意義」を感じられること	報酬があること	北方領土返還を求める思いがあること	その他（自由記載）	わからない・特になし
居住地 (都道府県)	北海道東北	200 100%	44 22%	24 12%	28 14%	13 7%	47 24%	10 5%	33 17%	0 0%	1 1%
	関東甲信越	650 100%	141 22%	82 12%	81 14%	36 7%	156 24%	32 5%	110 17%	3 0%	9 1%
	東海北陸	195 100%	47 24%	30 15%	26 13%	7 4%	39 20%	7 4%	32 16%	1 1%	6 3%
	近畿	223 100%	55 25%	33 15%	27 12%	6 3%	51 23%	9 4%	34 15%	0 0%	8 4%
	中国四国	119 100%	22 18%	17 14%	19 16%	4 3%	29 24%	5 4%	19 16%	1 1%	3 3%
	九州沖縄	109 100%	28 26%	14 13%	12 11%	3 3%	25 23%	5 5%	18 17%	0 0%	4 4%

■ 居住地別でも求める条件に大きな差はなかったが、中国四国では「基本知識」がやや低く「分かりやすさ」がやや高かった。

# 【II-14】 Q3：北方領土返還要求運動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要か③



<性別及び年齢別の回答数>

		有効回答数	北方領土問題についての基本知識があること	広報啓発活動の十分な情報提供があること	広報啓発活動への参加方法が分かりやすいこと	「楽しい」と思えること	「参加する意義」を感じられること	報酬があること	北方領土返還を求める思いがあること	その他（自由記載）	わからない・特になし
男性	18～24歳	184 100%	39 21%	22 12%	28 15%	9 5%	43 23%	11 6%	26 14%	0 0%	6 3%
	25～29歳	175 100%	33 19%	28 16%	27 15%	16 9%	34 19%	9 5%	25 14%	0 0%	3 2%
	30～34歳	190 100%	33 17%	28 15%	22 12%	9 5%	47 25%	18 9%	27 14%	1 1%	5 3%
	35～39歳	199 100%	45 23%	29 15%	24 12%	11 6%	44 22%	9 5%	32 16%	0 0%	5 3%
女性	18～24歳	146 100%	44 30%	10 7%	19 13%	6 4%	34 23%	6 4%	23 16%	0 0%	4 3%
	25～29歳	195 100%	47 24%	26 13%	25 13%	7 4%	45 23%	7 4%	33 17%	0 0%	5 3%
	30～34歳	232 100%	54 23%	31 13%	27 12%	6 3%	59 25%	5 2%	44 19%	3 1%	3 1%
	35～39歳	175 100%	42 24%	26 15%	21 12%	5 3%	41 23%	3 2%	36 21%	1 1%	0 0%

- 男性は年齢別での差異は少ないが、「25～29歳」では「楽しさ」の割合が少し高く「参加する意義」の割合が少し低かった。
- 女性は年齢が高くなるほど「返還への思い」の割合が高くなった。  
また、「18～24歳」は「基本知識」の割合が高く「情報提供」の割合が低かった。

# 【II-15】 Q3：北方領土返還要求運動に参加しやすくなるためには、 どのような条件が必要か④



<性別及び職業別の回答数>

		有効回答数	北方領土問題についての 基本知識があること	広報啓発活動の十分な情 報提供があること	広報啓発活動への参加方 法が分かりやすいこと	「楽しい」と思えること	「参加する意義」を感じ られること	報酬があること	北方領土返還を求める思 いがあること	その他（自由記載）	わからない・特になし
男性	学生	143 100%	32 22%	17 12%	24 17%	7 5%	31 22%	8 6%	21 15%	0 0%	3 2%
	会社員	362 100%	68 19%	52 14%	47 13%	25 7%	83 23%	25 7%	52 14%	0 0%	10 3%
	自営業	128 100%	26 20%	21 16%	14 11%	5 4%	31 24%	7 5%	22 17%	1 1%	1 1%
	アルバイト	65 100%	14 22%	12 18%	9 14%	4 6%	11 17%	3 5%	10 15%	0 0%	2 3%
	無職	50 100%	10 20%	5 10%	7 14%	4 8%	12 24%	4 8%	5 10%	0 0%	3 6%
	学生	60 100%	15 25%	4 7%	8 13%	1 2%	18 30%	2 3%	10 17%	0 0%	2 3%
女性	会社員	275 100%	62 23%	35 13%	32 12%	13 5%	72 26%	6 2%	49 18%	1 0%	5 2%
	自営業	105 100%	25 24%	17 16%	13 12%	1 1%	23 22%	4 4%	18 17%	1 1%	3 3%
	アルバイト	128 100%	40 31%	15 12%	17 13%	4 3%	27 21%	4 3%	21 16%	0 0%	0 0%
	無職	179 100%	45 25%	22 12%	22 12%	5 3%	39 22%	5 3%	38 21%	1 1%	2 1%
	学生	60 100%	15 25%	4 7%	8 13%	1 2%	18 30%	2 3%	10 17%	0 0%	2 3%

## ■ 職業別での傾向は以下の通り。

		他職業より	
		割合が高い	割合が低い
男性	学生	分かりやすさ	－
	会社員	－	－
	自営業	情報提供 返還への思い	分かりやすさ
	アルバイト	情報提供	参加する意義
	無職	－	情報提供 返還への思い
女性	学生	参加する意義	情報提供
	会社員	－	－
	自営業	情報提供	－
	アルバイト	基礎知識	－
	無職	返還への思い	－



# 【II-16】 Q4：参加したいと思う広報啓発活動①

<性別、年齢別の回答数>

		有効回答数	SNSを用いた情報発信	画・制作や出演	ウェブサイトで配信する広報啓発動画の企画	北方領土返還を求める署名活動	芸能人や有名人などが出演するイベント	グルメ(料理)のイベントと連携したイベント	「まちコン」のような地域イベントと連携したイベント	納涼祭、花火大会や学園祭など各種お祭りイベントと連携したイベント	サブカルチャー(アニメ、コスプレなど)のイベントと連携したイベント	ゆるキャラ(イメージキャラクター)のイベントと連携したイベント	有識者による北方領土問題についての討論会・講演会	北方領土問題についてのわかりやすい研修会・講演会	北方領土を間近に望める隣接地域(北海道根室市など)での研修会・講演会	元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベント	日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一同に会する大会	その他(自由記載)	わからない・特になし
全体		1,249	211	75	124	80	121	48	68	51	46	110	57	35	106	16	10	91	
		100%	17%	6%	10%	6%	10%	4%	5%	4%	4%	9%	5%	3%	8%	1%	1%	7%	
性別	男性	624	108	44	61	42	46	26	28	30	19	54	38	20	43	10	3	52	
		100%	17%	7%	10%	7%	7%	4%	4%	5%	3%	9%	6%	3%	7%	2%	0%	8%	
性別	女性	625	103	31	63	38	75	22	40	21	27	56	19	15	63	6	7	39	
		100%	16%	5%	10%	6%	12%	4%	6%	3%	4%	9%	3%	2%	10%	1%	1%	6%	
年齢	18~24歳	272	64	18	33	24	24	9	9	10	7	17	8	6	13	6	0	24	
		100%	24%	7%	12%	9%	9%	3%	3%	4%	3%	6%	3%	2%	5%	2%	0%	9%	
	25~29歳	340	57	22	28	24	33	18	18	14	17	27	16	9	27	2	2	26	
		100%	17%	6%	8%	7%	10%	5%	5%	4%	5%	8%	5%	3%	8%	1%	1%	8%	
年齢	30~34歳	325	42	19	34	22	29	11	20	14	10	31	17	12	29	5	5	25	
		100%	13%	6%	10%	7%	9%	3%	6%	4%	3%	10%	5%	4%	9%	2%	2%	8%	
年齢	35~39歳	312	48	16	29	10	35	10	21	13	12	35	16	8	37	3	3	16	
		100%	15%	5%	9%	3%	11%	3%	7%	4%	4%	11%	5%	3%	12%	1%	1%	5%	

- 参加したい広報啓発活動は、全体では「SNS」「署名活動」「グルメ連携」「分かりやすい研修会」「生の声」という順に高かった。
- 男性は女性に比べて、「グルメ連携」「生の声」の割合が低く、「有識者討論会」の割合が高かった。
- 年齢が高くなるほど、「分かりやすい研修会」「生の声」の割合が高くなった。また、「18~24歳」において「SNS」の割合が高かった。

- <その他の記載例>
- 学校の授業で取り上げる
  - 今の時代はネットから大きな流れになる事が多い為、ネット関連が有効と考える
  - グルメイベントなどでわかりやすく伝えて欲しい
  - ロシア側との国際交流
  - 基本的な知識をつけられるイベント
  - テレビでの問題提起、討論視聴
  - オンラインでの署名運動は効果的かと思えます。周知活動と当事者意識の啓発が必要と思えます。
  - 観光名所みたいに楽しめる
  - 元島民の方のYouTube配信
  - 北方領土の具体的な活用法を提案するオンラインセミナー



# 【II-17】 Q4：参加したいと思う広報啓発活動②

＜居住地ブロック別の回答数＞

居住地（都道府県）	有効回答数	SNSを用いた情報発信	ウェブサイトで配信する広報啓発動画の企画・制作や出演	北方領土返還を求める署名活動	芸能人や有名人などが出演するイベント	グルメ（料理）のイベントと連携したイベント	「まちコン」のような地域イベントと連携したイベント	納涼祭、花火大会や学園祭など各種お祭りイベントと連携したイベント	サブカルチャー（アニメ、コスプレなど）のイベントと連携したイベント	ゆるキャラ（イメージキャラクター）のイベントと連携したイベント	会・講演会	北方領土問題についてのわかりやすい研修会	有識者による北方領土問題についての討論会	北方領土を間近に望める隣接地域（北海道根室市など）での研修会・講演会	元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベント	日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一同に会する大会	その他（自由記載）	わからない・特になし
居住地（都道府県）	北海道東北	162	26	6	12	12	13	7	12	7	7	14	8	4	16	2	1	15
		100%	16%	4%	7%	7%	8%	4%	7%	4%	4%	9%	5%	2%	10%	1%	1%	9%
	関東甲信越	530	81	36	54	32	70	19	31	17	9	55	22	16	46	6	4	32
		100%	15%	7%	10%	6%	13%	4%	6%	3%	2%	10%	4%	3%	9%	1%	1%	6%
	東海北陸	172	32	10	21	14	12	4	11	10	8	11	8	3	15	2	2	9
		100%	19%	6%	12%	8%	7%	2%	6%	6%	5%	6%	5%	2%	9%	1%	1%	5%
近畿	185	40	17	15	11	13	7	7	8	11	9	8	6	14	4	1	14	
	100%	22%	9%	8%	6%	7%	4%	4%	4%	6%	5%	4%	3%	8%	2%	1%	8%	
中国四国	111	13	3	12	7	6	9	4	3	8	9	7	4	11	2	2	11	
	100%	12%	3%	11%	6%	5%	8%	4%	3%	7%	8%	6%	4%	10%	2%	2%	10%	
九州沖縄	89	19	3	10	4	7	2	3	6	3	12	4	2	4	0	0	10	
	100%	21%	3%	11%	4%	8%	2%	3%	7%	3%	13%	4%	2%	4%	0%	0%	11%	

■ 傾向がある地域ブロックは以下の通り。

	他地域より	
	割合が高い	割合が低い
関東甲信越	グルメ連携	－
近畿	SNS ウェブサイト	分かりやすい研修会
中国四国	地域イベント連携 ゆるキャラ連携	SNS ウェブサイト
九州沖縄	SNS 分かりやすい研修会	－





# 【II-18】 Q4：参加したいと思う広報啓発活動③

<性別及び年齢別の回答数>

	有効回答数	SNSを用いた情報発信	画・制作や出演	ウェブサイトで配信する広報啓発動画の企画	北方領土返還を求める署名活動	芸能人や有名人などが出演するイベント	グルメ（料理）のイベントと連携したイベント	「まちコン」のような地域イベントと連携したイベント	納涼祭、花火大会や学園祭など各種お祭りイベントと連携したイベント	サブカルチャー（アニメ、コスプレなど）のイベントと連携したイベント	ゆるキャラ（イメージキャラクター）のイベントと連携したイベント	北方領土問題についてのわかりやすい研修会・講演会	有識者による北方領土問題についての討論会	北方領土を間近に望める隣接地域（北海道根室市など）での研修会・講演会	元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベント	日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一同に会する大会	その他（自由記載）	わからない・特になし
		性別	年齢	144	35	12	15	11	7	5	4	6	3	12	8	3	5	4
男性	18～24歳	100%	24%	8%	10%	8%	5%	3%	3%	4%	2%	8%	6%	2%	3%	3%	0%	10%
	25～29歳	162	27	15	14	11	11	10	8	7	6	9	11	8	9	2	1	13
	30～34歳	100%	17%	9%	9%	7%	7%	6%	5%	4%	4%	6%	7%	5%	6%	1%	1%	8%
	35～39歳	148	19	9	14	13	8	5	7	8	4	13	11	6	14	2	0	15
女性	18～24歳	100%	13%	6%	9%	9%	5%	3%	5%	5%	3%	9%	7%	4%	9%	1%	0%	10%
	25～29歳	170	27	8	18	7	20	6	9	9	6	20	8	3	15	2	2	10
	30～34歳	100%	16%	5%	11%	4%	12%	4%	5%	5%	4%	12%	5%	2%	9%	1%	1%	6%
	35～39歳	128	29	6	18	13	17	4	5	4	4	5	0	3	8	2	0	10
女性	18～24歳	100%	23%	5%	14%	10%	13%	3%	4%	3%	4%	0%	2%	6%	2%	0%	8%	
	25～29歳	178	30	7	14	13	22	8	10	7	11	18	5	1	18	0	1	13
	30～34歳	100%	17%	4%	8%	7%	12%	4%	6%	4%	6%	10%	3%	1%	10%	0%	1%	7%
	35～39歳	177	23	10	20	9	21	6	13	6	6	18	6	6	15	3	5	10
女性	18～24歳	100%	13%	6%	11%	5%	12%	3%	7%	3%	3%	10%	3%	3%	8%	2%	3%	6%
	25～29歳	142	21	8	11	3	15	4	12	4	6	15	8	5	22	1	1	6
	30～34歳	100%	15%	6%	8%	2%	11%	3%	8%	3%	4%	11%	6%	4%	15%	1%	1%	4%
	35～39歳	142	21	8	11	3	15	4	12	4	6	15	8	5	22	1	1	6
100%	15%	6%	8%	2%	11%	3%	8%	3%	4%	4%	11%	6%	4%	15%	1%	1%	4%	

- 男性は年齢が高くなるほど、「グルメ連携」の割合が高くなった。また、「18～24歳」では「SNS」の割合が高く「生の声」が低かった。
- 女性は年齢が高くなるほど、「お祭り連携」の割合が高くなり、「芸能人イベント」「グルメ連携」の割合が低くなった。また、「18～24歳」では「SNS」「署名活動」の割合が高く「生の声」「分かりやすい研修会」が低かった。



# 【II-19】 Q4：参加したいと思う広報啓発活動④

<性別及び職業別の回答数>

	有効回答数	SNSを用いた情報発信	ウェブサイトで配信する広報啓発動画の企画・制作や出演	北方領土返還を求める署名活動	芸能人や有名人などが出演するイベント	グルメ(料理)のイベントと連携したイベント	「まちコン」のような地域イベントと連携したイベント	納涼祭・花火大会や学園祭など各種お祭りイベントと連携したイベント	サパカルチャー(アニメ、コスプレなど)のイベントと連携したイベント	ゆるキャラ(イメージキャラクター)のイベントと連携したイベント	北方領土問題についてのわかりやすい研修会・講演会	有識者による北方領土問題についての討論会	北方領土を身近に望める隣接地域(北海道根室市など)での研修会・講演会	元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベント	日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一同に会する大会	その他(自由記載)	わからない・特になし	
																		101
男性	学生	101	24	5	12	6	7	5	3	5	3	8	8	2	3	3	0	7
		100%	24%	5%	12%	6%	7%	5%	3%	5%	3%	8%	8%	2%	3%	3%	0%	7%
	会社員	314	49	22	32	23	22	15	20	15	9	29	16	11	23	4	2	22
		100%	16%	7%	10%	7%	7%	5%	6%	5%	3%	9%	5%	4%	7%	1%	1%	7%
	自営業	112	18	10	9	4	10	2	3	6	3	10	9	5	13	1	1	8
	100%	16%	9%	8%	4%	9%	2%	3%	5%	3%	9%	8%	4%	12%	1%	1%	7%	
アルバイト	71	13	6	7	6	6	4	2	3	3	6	4	2	3	2	0	4	
	100%	18%	8%	10%	8%	8%	6%	3%	4%	4%	8%	6%	3%	4%	3%	0%	6%	
無職	26	4	1	1	3	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	11	
	100%	15%	4%	4%	12%	4%	0%	0%	4%	4%	4%	4%	0%	4%	0%	0%	42%	
女性	学生	53	10	2	9	4	9	2	0	1	2	4	0	2	4	1	0	3
		100%	19%	4%	17%	8%	17%	4%	0%	2%	4%	8%	0%	4%	8%	2%	0%	6%
	会社員	243	41	11	25	17	31	6	14	7	9	25	7	6	25	1	3	15
		100%	17%	5%	10%	7%	13%	2%	6%	3%	4%	10%	3%	2%	10%	0%	1%	6%
	自営業	87	14	7	4	4	11	4	8	6	6	5	2	0	10	1	0	5
	100%	16%	8%	5%	5%	13%	5%	9%	7%	7%	6%	2%	0%	11%	1%	0%	6%	
アルバイト	104	19	6	10	6	7	6	8	4	3	6	4	4	11	3	1	6	
	100%	18%	6%	10%	6%	7%	6%	8%	4%	3%	6%	4%	4%	11%	3%	1%	6%	
無職	138	19	5	15	7	17	4	10	3	7	16	6	3	13	0	3	10	
	100%	14%	4%	11%	5%	12%	3%	7%	2%	5%	12%	4%	2%	9%	0%	2%	7%	

## ■ 職業別の傾向は、以下の通り。

		他職業より	
		割合が高い	割合が低い
男性	学生	SNS	生の声
	会社員	-	-
	自営業	生の声	芸能人イベント
	アルバイト	-	生の声
	無職	(回答数が少ない)	
女性	学生	署名活動 グルメ連携	お祭りイベント連携 有識者討論会
	会社員	-	-
	自営業	ウェブサイト サパカルチャー連携	署名活動 分かりやすい研修会
	アルバイト	-	グルメ連携 分かりやすい研修会
	無職	-	-



# 【II-20】 Q5：北方領土返還要求運動について一番近い考え①

<性別、年齢別の回答数>

		有効回答数	大いに意味はあると思うので、続けるべき	意味はあると思うので、続けるべき	意味はあると思うが、やり方を変えるべき	あまり意味はないと思うので、やり方を変えるべき	あまり意味はないと思うので、止めた方がいい	全く意味はないと思うので、止めた方がいい	わからない・特にな
全体		649	84	318	150	30	9	5	53
		100%	13%	49%	23%	5%	1%	1%	8%
性別	男性	336	51	165	76	22	5	3	14
		100%	15%	49%	23%	7%	1%	1%	4%
女性	女性	313	33	153	74	8	4	2	39
		100%	11%	49%	24%	3%	1%	1%	12%
年齢	18～24歳	154	17	80	30	9	3	0	15
		100%	11%	52%	19%	6%	2%	0%	10%
	25～29歳	165	26	82	33	5	2	1	16
		100%	16%	50%	20%	3%	1%	1%	10%
30～34歳	167	18	75	44	10	3	3	14	
	100%	11%	45%	26%	6%	2%	2%	8%	
35～39歳	163	23	81	43	6	1	1	8	
	100%	14%	50%	26%	4%	1%	1%	5%	

- 全体では、「北方領土返還要求運動」について「意味はある」が85%を占めたが、その中で23%は「やり方を変えるべき」という回答だった。
- 男性は女性に比べて「大いに意味はある」「やり方を変えるべき」の割合が高く、「わからない」の割合は低かった。
- 年齢別では大きな差はなかったが、30歳未満に比べて30歳以上は「やり方を変えるべき」の割合が高かった。



# 【II-21】 Q5：北方領土返還要求運動について一番近い考え②

<居住地地域ブロック別の回答数>

		有効回答数	大いに意味はあ るべき	意味はあると思 うので、続ける べき	意味はあると思 うが、やり方を 変えるべき	あまり意味はな いと思うので、 やり方を変える べき	あまり意味はな いと思うので、 止めた方がいい	全く意味はな いと思うので、 止めた方がいい	わからない・特 にない
居住地 (都道府県)	北海道東北	80 100%	11 14%	40 50%	19 24%	3 4%	0 0%	1 1%	6 8%
	関東甲信越	272 100%	32 12%	128 47%	73 27%	12 4%	2 1%	2 1%	23 8%
	東海北陸	83 100%	10 12%	44 53%	14 17%	7 8%	0 0%	0 0%	8 10%
	近畿	105 100%	15 14%	57 54%	16 15%	3 3%	2 2%	2 2%	10 10%
	中国四国	55 100%	8 15%	27 49%	12 22%	3 5%	3 5%	0 0%	2 4%
	九州沖縄	54 100%	8 15%	22 41%	16 30%	2 4%	2 4%	0 0%	4 7%

■ 居住地別では傾向は大きく変わらないものの、「東海北陸」「近畿」において「やり方を変えるべき」の割合がやや低かった。



# 【II-22】 Q5：北方領土返還要求運動について一番近い考え③

<性別及び年齢別の回答数>

		有効回答数	続けるべき	大いに意味はあると思うので、続けるべき	意味はあると思うので、続けるべき	意味はあると思うが、やり方を変えるべき	あまり意味はないと思うので、やり方を変えるべき	あまり意味はないと思うので、止めた方がいい	全く意味はないと思うので、止めた方がいい	わからない・特にない
男性	18～24歳	84 100%	11 13%	44 52%	17 20%	8 10%	2 2%	0 0%	2 2%	
	25～29歳	81 100%	16 20%	42 52%	13 16%	4 5%	2 2%	1 1%	3 4%	
	30～34歳	79 100%	10 13%	36 46%	20 25%	4 5%	1 1%	2 3%	6 8%	
	35～39歳	92 100%	14 15%	43 47%	26 28%	6 7%	0 0%	0 0%	3 3%	
女性	18～24歳	70 100%	6 9%	36 51%	13 19%	1 1%	1 1%	0 0%	13 19%	
	25～29歳	84 100%	10 12%	40 48%	20 24%	1 1%	0 0%	0 0%	13 15%	
	30～34歳	88 100%	8 9%	39 44%	24 27%	6 7%	2 2%	1 1%	8 9%	
	35～39歳	71 100%	9 13%	38 54%	17 24%	0 0%	1 1%	1 1%	5 7%	

- 男性は年齢別でも傾向は変わらないが、30歳未満に比べて30歳以上は「意味はあるが、やり方を変えるべき」の割合が高かった。
- 女性も年齢別で傾向は変わらないが、30歳未満で「わからない」の割合が高かった。



# 【II-23】 Q5：北方領土返還要求運動について一番近い考え④

<性別及び職業別の回答数>

		有効回答数	大いに意味はあると思うので、続けるべき	意味はあると思うので、続けるべき	意味はあると思うが、やり方を変えるべき	あまり意味はないと思うので、やり方を変えるべき	あまり意味はないと思うので、止めた方がいい	全く意味はないと思うので、止めた方がいい	わからない・特にな
男性	学生	60 100%	10 17%	31 52%	11 18%	6 10%	1 2%	0 0%	1 2%
	会社員	167 100%	23 14%	79 47%	43 26%	9 5%	4 2%	2 1%	7 4%
	自営業	59 100%	10 17%	32 54%	12 20%	2 3%	0 0%	1 2%	2 3%
	アルバイト	27 100%	4 15%	12 44%	9 33%	1 4%	0 0%	0 0%	1 4%
	無職	23 100%	4 17%	11 48%	1 4%	4 17%	0 0%	0 0%	3 13%
女性	学生	26 100%	2 8%	15 58%	4 15%	0 0%	0 0%	0 0%	5 19%
	会社員	114 100%	10 9%	55 48%	31 27%	2 2%	2 2%	0 0%	14 12%
	自営業	46 100%	7 15%	24 52%	6 13%	4 9%	0 0%	1 2%	4 9%
	アルバイト	57 100%	7 12%	28 49%	13 23%	2 4%	2 4%	0 0%	5 9%
	無職	70 100%	7 10%	31 44%	20 29%	0 0%	0 0%	1 1%	11 16%

■ 傾向があった職業は、以下の通り。

		他職業より	
		割合が高い	割合が低い
男性	学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味はないのでやり方を変えるべき</li> </ul>	-
	自営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味があるので続けるべき</li> </ul>	-
	アルバイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味はあるがやり方を変えるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味があるので続けるべき</li> </ul>
女性	無職	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味はないのでやり方を変えるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味はあるがやり方を変えるべき</li> </ul>
	学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味があるので続けるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大いに意味はある</li> <li>意味はあるがやり方を変えるべき</li> </ul>
	自営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>大いに意味はある</li> <li>意味はないのでやり方を変えるべき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味はあるがやり方を変えるべき</li> </ul>
	無職	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>意味があるので続けるべき</li> </ul>

## III グループインタビュー調査結果



## 【III-1】回答者の属性

	姓	性別	年齢	職業
グループ① 18～24歳	A	男性	20	学生
	B		21	
	C		20	
	D	女性	20	
	E		20	
	F		20	
グループ② 25～39歳	G	男性	34	会社員
	H		37	
	I		25	
	J	女性	25	
	K		27	
	L		27	





## 【III-2】各質問項目への回答の傾向

項目	質問項目	発言内容の傾向	
		グループ① 18～24歳（学生）	グループ② 25～39歳（会社員）
Q3-1	北方領土と聞いて思い浮かぶことは何ですか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校で習った程度しか見聞きしていない</li> <li>• 情報取得としてSNSを日常的に使っているため、人気のYoutuberが取り上げると関心を持ちやすい</li> <li>• 他では得られない経験/体験/観光要素があれば、（北方領土に限らず）現地に行きたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校で習った程度しか見聞きしていない</li> <li>• SNSは目的別に個人が使い分けしているものの、SNSの利用頻度は高く、SNSでの問題発信は関心を持たれやすい</li> <li>• ネガティブなイメージがあるため、「北方領土」に行きたいとは思わない</li> </ul>
Q3-2	「北方領土」に関する啓発活動への参加について、あなたの気持ちに近いものをお答えください 「北方領土」に関する広報啓発活動に参加しやすくなるためには、どのような条件が必要だと思いますか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 政治的な活動への参加に対する抵抗感や、自分事として捉えられないことから参加したくない</li> <li>• 好きなタレント（Youtuber）からの呼びかけや当人に会えるなら参加したい</li> <li>• 広告だとわかる広報ではなく、問いかけやイベント告知、動画などのコンテンツであれば興味を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 政治的な活動への参加に対する抵抗感から啓発活動へは参加したくない</li> <li>• 啓発活動の内容がクリアになったり、初心者・知識がなくても受け入れてくれると感じたりできれば参加しやすくなる</li> <li>• YouTubeでの配信やSNSで漫画形式での投稿など、知らない人でも受け入れ易いコンテンツが必要</li> </ul>
Q3-3	あなたは、北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」をご存じですか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「エリカちゃん」自体は可愛く親しみやすいが、北方領土のイメージキャラクターとは分らない</li> <li>• リアルイベントへの参加・有名人とコラボ、SNS運営するなど、露出を増やすことで広く知ってもらえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「エリカちゃん」自体は可愛く親しみやすいが、北方領土のイメージキャラクターとは分らない</li> <li>• SNSアカウントでキャラクター自身が広報、YouTube/SNSでのアニメーション、などで露出を増やすことで広く知ってもらえる</li> </ul>